

■景観チェックシート（景観資源シート）

届出者氏名		行為の種類	
行為の場所		届出対象行為	有り ・ 無し

＜計画地の周辺の景観資源の把握＞

○鈴鹿らしい景観形成を考える際に留意すべき事項は地域によって異なるため、計画地の周辺に身近な自然的景観資源や歴史的・文化的景観資源等の特徴的なものがあれば把握しましょう。

○計画地の周辺のまち歩きによる景観資源の調査をお願いします。

（例えば、計画地の周辺半径 150～200mの範囲にある景観資源を抽出し、その特性について記入し、その位置を地図に明示してみましょう。）

位 置	景観資源の種類	景観資源の特性	景観資源に設計上配慮又は工夫した内容
例①	樹姿・樹勢の優れた樹木	推定樹齢が 100 年を超える巨木がある。この地域の景観のシンボルの存在となっている。	この巨木周辺の自然的景観と調和するように、建築物の高さを抑え、色彩に配慮した。

○上記の景観資源に配慮又は工夫して景観設計を進めていきましょう。（景観資源に設計上配慮又は工夫した内容を記入してください。）

景観資源の種類	具体的な内容（例）
自然的景観資源	☐ まとまった里山・樹林地 ☐ 樹姿・樹勢の優れた樹木 ☐ 一団の優良な農地（水田地・茶畑・サツキ畑など） ☐ 見晴らしの良い場所 ☐ 河川・水路・ため池等の水辺
歴史的・文化的景観資源	☐ 古くからの既存集落 ☐ 古くからある建築物（民家） ☐ 寺社・仏閣 ☐ 古民家 ☐ 歴史を感じさせる道標やほこら ☐ 地域の祭り・伝統行事・イベント ☐ 季節の風物詩
都市的景観資源	☐ 地区計画などによる計画的な住宅開発団地 ☐ 商店街 ☐ 大規模商業施設 ☐ 大規模工業施設 ☐ 公園緑地 ☐ 街路樹 ☐ 官公庁 ☐ 文化施設 ☐ 教育施設

＜景観類型の把握＞

市の特性による面的区分	自然的景観	☐ ①鈴鹿山脈及び山麓 ☐ ②丘陵地 ☐ ③平野部水田地 ☐ ④里山水田地
	都市的景観	☐ ⑤住宅地 ☐ ⑥商業地 ☐ ⑦工業地
市の個性を彩る景観軸・拠点	景観軸	☐ ①河川 ☐ ②海岸 ☐ ③幹線道路
	景観拠点	☐ ①緑の中心核 ☐ ②駅前商業地 ☐ ③鈴鹿サーキット周辺 ☐ ④歴史的・文化的景観資源 ☐ ⑤眺望景観

○該当する景観類型別の景観形成基準を参考にして、景観設計を進めていきましょう。（→該当する「景観類型」シートへ）

ただし、行為が届出対象行為に該当する場合は景観形成基準に適合する必要があります。